

2022年3月13日(日)

日本キリスト教団 **久宝教会**

第64巻第50号(通算3278号)

教会設立 1959年6月14日

〒581-0072

大阪府八尾市久宝寺6丁目7-10

TEL 072-992-2131 FAX 072-992-2135

郵便振替: 00980-5-212130 「日本基督教団久宝教会」

【集会案内】こどもの礼拝: 毎日曜 10:15-10:30 何かお悩みがありましたらご遠慮なくご相談ください  
主日礼拝: 毎日曜 10:30-11:30 小さい子どもたちも、いつでも歓迎いたします。

しゅうほう

# 週報

教会標語

かみさま ひと ととも  
神様がすべての人と共におられる  
あかし きょうかい  
ことを証ししていく教会



ホームページ「久宝教会」  
(ウェブサイト)

http://www.koinonia.or.jp/kyuhokyokai  
【連絡先(牛田)】090-9161-4027

kyuho-church@koinonia.or.jp

丈夫な人には医者はいらないが、具合の悪い人には、必要なのだ。実に、私が来たのは、「正統派の人」を招くためではなく、「道をふみはずした者」を招くためである。(マルコによる福音書2:17)

## レント (受難節) 第2主日礼拝

れいはい ちゅうけいはいしん  
《礼拝はインターネットで中継配信いたします。ホームページにてどなたでも  
しちょう ばしよ ととも れいはい  
ご視聴いただけますので、それぞれの場所で共に礼拝をしていただけます》

ぜん そう もく とう ちよさくけんしやうめつ  
前 奏 (黙 禱) AVE VERUM CORPUS (©著作権消滅)

まね ことば しへん へん せつ  
招きの詞 詩編 18編 2-4節

ばん にか じゅうじか せつ  
賛美歌 21-305番「イエスの担った十字架は」(1,2節のみ)(©JASRAC)

しょうとう ことば  
消灯の詞

ばん ばん  
賛美歌 21-211番「あさかぜしずかにふきて」(©JASRAC)

せい し しょう せつ  
聖 書 マルコによる福音書 3章 20-30節

いの ばん せつ ちよさくけんしやうめつ  
お 祈り 賛美歌 21-296番「いのちのいのちよ」(1-3節のみ)(©著作権消滅)

メッセージ 「外に立つ」 牛田 匡 牧師

ばん しょう いのち さんびかへんしゅういんかい  
賛美歌 21-513番「主は命を」(©讚美歌編集委員会)

ばん てん わたし ちち きやうだんさんびかかいていいんかい  
主の祈り 21-62番「天にいます 私たちの父」(©教団讚美歌改訂委員会)

ささげもの (\*)  
献げ物

ばん かんめい う せつ  
派 遣 21-91番「神の恵みゆたかに受け」(1節のみ)(©JASRAC)

しゆくふく しょう せつ  
祝 福 牛田 匡 牧師

こう そう ばん ちよさくけんしやうめつ  
後 奏 アーメン コーラス (21-40-6番)(©著作権消滅)

ほう こく ばん せいしやう  
報 告 (4頁をご参照ください)

《お隣と間隔をあけて、席にお座りになったままで礼拝にご参加ください》

\* 「献げ物 (献金)」は参加費ではございません。

うけつけ けんきんばこ ようい かた ささ  
受付に献金箱がございます。ご用意のある方のみ、お献げください。

まね ことば  
招きの詞 詩編 18編 2-4節 (聖書協会共同訳©日本聖書協会)

<sup>2</sup>主よ、わが力よ、私はあなたを慕<sup>した</sup>う。

<sup>3</sup>主はわが岩、わが城、私を救<sup>のが</sup>う方  
わが神、わが大岩、私はそこに逃<sup>のが</sup>れる。  
わが盾<sup>たて</sup>、わが救いの角<sup>つの</sup>、わが砦<sup>とりで</sup>。

<sup>4</sup>ほむべき方、主に呼びかけると  
私は敵から救われる。

しょうとう ことば  
消灯の詞 (参照：ヨハネによる福音書 1章 34, 3-4節)

ししきしゃ バプテスマのヨハネは、イエス様<sup>さま</sup>を指<sup>ゆび</sup>さして言<sup>い</sup>いました。

みんな 「この方<sup>かた</sup>こそ神<sup>かみ</sup>の子<sup>こ</sup>である」と。

ししきしゃ ひかり よ き ひとびと ひかり やみ この  
司式者 光が世に来たのに、人々は光よりも闇のほうを好みました。

聖書 マルコによる福音書 3章 20-30節 (聖書協会共同訳©日本聖書協会)

<sup>20</sup> イエスが家に帰られると、群衆がまた集まって来て、一同は食事をする暇もないほどであった。<sup>21</sup> 身内の人たちはイエスのことを聞いて、取り押さえに来た。「気が変になっている」と<sup>a</sup> 思ったからである。<sup>22</sup> エルサレムから下って来た律法学者たちも、「あの男はベルゼブルに取りつかれている」と言い、また、「悪霊<sup>あくれい</sup>の頭<sup>かしら</sup>の力で悪霊を追い出している」と言っていた。<sup>23</sup> そこで、イエスは彼らを呼び寄せて、たとえを用いて語られた。「どうして、サタンがサタンを追い出せよう。<sup>24</sup> 国が内輪で争えば、その国は立ち行かない。<sup>25</sup> また、家が内輪で争えば、その家は立ち行かない。<sup>26</sup> もしサタンが内輪もめして争えば、立ち行かず、滅びてしまう。<sup>27</sup> また、まず強い人を縛り上げなければ、誰も、その人の家に押し入って、家財道具を奪い取ることはできない。まず縛ってから、その家を略奪するものだ。<sup>28</sup> よく言っておく。人の子らが犯す罪やどんな冒瀆<sup>ぼうとく</sup>の言葉も、すべて赦<sup>ゆる</sup>される。<sup>29</sup> しかし、聖霊を冒瀆する者は永遠に赦されず、永遠の罪に定められる。」<sup>30</sup> イエスがこう言われたのは、「彼は汚れた霊に取りつかれている」と人々が言っていたからである。

(脚注 a：別訳「人々が言っていたからである」)

## 《先週のメッセージより》2022年3月6日 受難節第1主日礼拝

「この苦しみは何のため」より

牛田 匡 牧師

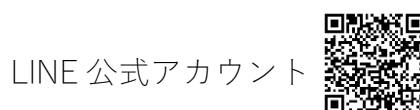
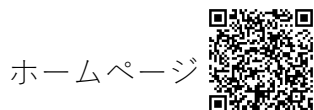
聖書 ヘブライ人への手紙 2章 10-18節

今回の聖書の手紙が書かれたのは、イエス様が十字架で殺され、三日目に引き起こされてから数十年後かと考えられています。「あのイエス様の受難、十字架による処刑は、何のための苦しみだったのか」ということがテーマとなっています。イエス様は私たちと同じ生身の身体を持った人間としてお生まれになりました。そしてイエス様自身が試練を受けて苦しまれたからこそ、試練を受けている人たちを助けることがおできになったと記されています。

私たちの日々の生活の中には、様々な苦しみがあります。今日で言えば、新型コロナウイルス感染症があり、経路不明の感染や容体の急変があり、予期せぬ突然の別れもあります。その他にも、事故や病気、障がいなどもありますし、また仕事を失い、衣食住を失う貧困があり、差別もあります。さらに戦争があり、人の手によって他者の命が傷つけられ奪われています。思わず「この苦しみは何のためなのか」と叫びたくなることも多くあります。そして多くの場合、その答えはすぐには出ません。むしろすぐに出る答えは、唯一の正解なのではなく、答えは時と共に変化していくものなのかもしれません。イエス様自身、十字架の上で「わが神、わが神、なぜ私をお見捨てになったのですか」（マルコ 15：34）という絶望の叫びをあげました。「命の神への揺るぎない信仰があれば、絶望することはなく、苦しみの意味や目的も分かって悩むことがない」などということはありません。時に悩み、絶望することもあります。しかし、聖書全体を通して、私たちに告げられていることは、命は絶望には終わらないこと。肉体の死を超える絶対の命、永遠の命があるということ。今は悩み苦しんでも、その意味や目的はいつか必ず見出していくことができる、ということなのではないかと思えます。なぜなら、ご自身も受難され、苦しまれたイエス・キリストがいつも共にいてくださっているからです。

今も世界では苦しみに叫ぶ声があり、子どもたちは泣いています。一刻も早く愚かな戦争が止むように、剣に対して剣を取るのではなく、非暴力と不服従で世界中が向き合えるように祈り求めていきましょう。また身の回りにも多くの悩みや苦しみがありますが、それらに押しつぶされてしまうことなく、仲間と共に、また神様と共に、その苦しみにもやがて意味や目的を見出していくと信じて、私たちは今週も神様によって導かれて、歩み出していきます。

毎週の「メッセージより」は、ウェブサイト等にも順次掲載されています。



◎ 先週の報告 3月6日 受難節第1主日礼拝  
 礼拝出席 大人 4名 中継動画再生数 18回  
 献金 大人 4,000円 感謝

◎次週 2022年3月20日(日) レント(受難節) 第3主日礼拝

(今年の「レント」(受難節・四旬節)は3/2~4/16です。レントの期間は、イエス様の生涯や十字架の意味、イエス様に従うとはどういうことかを考える時です)

招きの詞 詩編 31編 8節 (\*礼拝はインターネットで中継配信いたします)

聖書 マルコによる福音書 8章 27-37節

メッセージ「私を救うもの」牛田匡牧師

賛美歌 21-314番(©改訂委)、21-422番(©改訂委)、21-499(©JASRAC)

◎お知らせ

- ・新型コロナウイルス感染症の感染爆発「第6波」が続いています。大阪府ではまん延防止等重点措置が3月21日まで延長されています。医療現場はすでに崩壊していて、救急車(緊急搬送)を要請しても入院できない状況が続いています。ご自身の感染予防のためにも、他人に感染させないためにも、教会堂に集まる形での礼拝にこだわらず、インターネットの中継配信を利用したご在宅での礼拝など、それぞれの方が参加しやすい形で礼拝にご参加ください。「週報」や「メッセージ(全文)」はホームページからダウンロードしていただくことができます。
- ・日本基督教団世界宣教委員会から「平和を求める祈り—ウクライナとロシアを覚えて—」が発表されています。ぜひお祈りをお合わせください。「主なる神よ/私たちは罪の中に住む者、そして罪人である私たちの共同体もまた、罪を犯します。/あなたの聖なる火で私たちを清めてください。/あなたを畏れることを忘れ、自分を大きくし、傲慢になる時、私たちは他者を脅かし、傷つけ、あなたにも背を向けます。主よ、人間の傲慢さを打ち砕いてください。/万軍の主よ、あなたの赦しの力は私たちの罪より偉大です。私たちを、この世界を、罪から救ってください。あなたの赦しに触れ、私たちにも赦す力を与えてください。/多くの人々の生死に関わる力を持つ人々がいます。その者たちのために祈ります。彼らが命を選ぶことができますように。/争い合う道を選び取った人々のために祈ります。平和の神であるあなたの教えを彼らが思い出すことができますように。神よ、あなたは剣を鋤に変え、私たちに戦いを止め、平和を求めるよう、その御心を示されます。/世界の指導者たちが、日本の指導者たちが、世界の教会が、日本の教会が、キリストの知恵と愛によって導かれ、勇気をもってこの局面と向き合うことができますように。武力ではなく、対話と相互理解、異なる立場にある者たちを互いに思いやる心をもって平和の道を模索していくことができますように。/ウクライナとロシアの人々のために祈ります。命を脅かされている人々のために、恐れと不安に襲われている人々のために、平和を求める人々のために祈ります。彼らの嘆きに耳を傾け、あなたが共にいて御手をもって彼らを守り、滅びの道から救い出してくださいますように。慰めと希望を与えてくださいますように。あなたの平和をもたらししてくださいますように。命と平和の主よ、私たちに、それぞれに置かれている場所から声を挙げ、あなたの御心を宣べ伝えることができますように。あなたの御心を求め、それに従いつつ、世界のキリストに従う者たちと共に、私たちを、平和を造り出す者としてくださいますように。/私たちの祈りをとりなし、私たちの嘆きに耳を傾けてくださる神の独り子イエス・キリストの御名によって祈ります。アーメン」

◎ 次週以降の行事予定

	メッセージ	行事		メッセージ	行事
3/20	牛田牧師		4/3	岡嶋伝道師	ユークリスト・教会を考える会
3/27	牛田牧師	誕生者祝福式・おにぎり支援	4/10	水谷牧師	